

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
1	旧肥田（ひだ）製陶工場（E B R I）	北海道江別市	S26頃／S28頃増築，H27改修	市中心部の旧窯業（ようぎょう）工場。煉瓦（れんが）造の主体部と鉄筋コンクリート造の増築部からなり，増築部の壁を煉瓦積みとして一体感のある外観をつくる。江別の窯業の歴史を伝える象徴的存在として地域に親しまれる。	建築物	産業2次	1
2	旧東屋（あづまや）酒造店店舗兼主屋	岩手県宮古市	M後期／T前期・S48改修	旧市街中心部にある文政（ぶんせい）7年（1824）創業の元造り酒屋。主屋は街路に西面して建つ入母屋（いりもや）造り妻入りの二階建てで，正面は北端の座敷部分を下見板（したみいた）張りとする以外は開口を広く取り，繊細な格子を並べる。主屋背面に土蔵造り平屋建ての酒蔵，主屋の北側に土蔵造り二階建ての質蔵が並び建ち，旧市街の歴史的景観を形成している。	建築物	産業2次	1
	旧東屋酒造店酒蔵		E末期／S28頃改修		建築物	産業2次	1
	旧東屋酒造店質蔵		E末期		建築物	産業2次	1
3	青葉神社本殿	宮城県仙台市	T13	仙台旧城下の北端にある伊達政宗を祀（まつ）る神社。主要な社殿は県技師・我妻駒之助（あがつまこまのすけ）の設計による。本殿は前室付の三間社流（さんげんしゃながれ）造り，向拝（ごはい）一間付き。組物（くみもの）は平三斗（ひらみつど）で庇を大斗肘木とする。木鼻（きばな）は幾何学的な意匠としつつ庇（ひさし）中央間と向拝に中世風の墓股（かえるまた）を置くなど，伝統的な形式や意匠を巧みに構成し直した近代の神社本殿である。本殿の周囲は透塀で結界して正面中央に中門を開き，中門背面に棟を直交して祝詞舎が接続し，本殿と一体となって境内中枢部を構成している。中門正面に建つ拝殿は入母屋造り，向拝一間付で，西側面の北端に伝供廊を介して神饌所を接続する。整然とした参道の突当りにあって近代的な社頭（しゃとう）景観を形成している。拝殿の前方に位置する旧愛姫社鞘堂（しんせんじょ）は入母屋造り妻入りで，内部を畳敷きとして格天井（ごうてんじょう）を張る。小規模ながら拳鼻（こぶしばな）や肘木（ひじき）に本殿と共通の絵様（えよう）をもつ上質な建物である。	建築物	宗教	2
	青葉神社中門（ちゅうもん）及び祝詞舎（のりとしゃ）		S2		工作物	宗教	2
	青葉神社透塀（すきべい）		S2		工作物	宗教	1
	青葉神社拝殿		S2		建築物	宗教	1
	青葉神社神饌所（しんせんじょ）及び伝供廊（でんくろう）		S4頃		建築物	宗教	1
	青葉神社旧愛姫社鞘堂（めぐひめしゃさやどう）		S6／S中期移築・改修		建築物	宗教	2
4	遠藤家住宅主屋	宮城県石巻市	M29	市街地近郷にある肝入（きもいり）を務めた旧家。主屋は丘陵南麓の敷地中央に南面して建つ切妻（きりづま）造りの平屋建てで，東に土間，西に4列に各2室を並べ，上手（かみて）列奥を座敷とする。主屋の西側に切妻造り二階建ての文庫蔵が建つ。気仙大工が手がけた，県東北部で屈指の規模を誇る近代和風住宅である。	建築物	住宅	2
	遠藤家住宅土蔵		M29頃		建築物	住宅	1
5	旧平野本店店舗兼主屋	宮城県気仙沼市	T10頃／S8頃増築，S38頃改修	東浜街道と気仙沼街道の交差点に建つ。洋風建築の店舗と寄棟（よせむね）造りの住宅からなり，店舗は半円アーチ窓や大ぶりのパラペットなどを用いた華やかな外観で，地域のランドマークとして親しまれる。	建築物	産業3次	1
6	四同舎（しどうしゃ）（旧湯沢酒造会館）	秋田県湯沢市	S34	市中心部にある鉄筋コンクリート造の集会施設。白井晟一（しらいせいいち）の設計で，黒塗りの柱と白タイルの壁の対比，積雪を考慮した独特な形状の軒が外観を特徴づける。内部のホールは花崗岩（かこうがん）製の回り階段が存在感を示す。	建築物	産業2次	2
7	顧空庵（こくうあん）	秋田県湯沢市	S28／H19移築	市街地東部にある白井晟一設計の住宅。軒が深い切妻造りの平屋建てで焦げ茶塗りの柱と白漆喰壁の対比が特徴的。内部は間取りの工夫でゆったりした空間をつくる。白井の和風建築の特徴を示す小住宅。	建築物	住宅	2
8	野口英世（のぐちひでよ）生家主屋	福島県耶麻郡猪苗代町（いなわしろまち）	文政6（1823）／S56改修	細菌学者・野口英世の生家。猪苗代湖畔に南面して建つ寄棟造り茅（かや）葺きの農家主屋で，土間と広間，座敷，納戸からなる。建築年代が明らかで，会津地方の伝統形式の指標となる民家建築。	建築物	住宅	2

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
9	大泉（おおいずみ）家住宅洋館	埼玉県川口市	S13頃	市南部の工場地帯にある実業家宅。洋館は大谷石（おおやいし）の石造二階建てで、外観は装飾を控えつつ、内部はステンドグラスやアールデコ風の意匠で華やかにつくる。洋館の西側に寄棟造り平屋建ての和館が独立して建ち、昭和初期の和洋館並立（わようかんへいれつ）住宅の好例を示す。洋館は類例の少ない石造住宅としても貴重。	建築物	住宅	2
	大泉家住宅和館		S13頃		建築物	住宅	1
10	永瀬昌文家住宅主屋	埼玉県川口市	S13頃	市中心部にある鋳物業者の住宅。入母屋造りの二階建てで、東側面に接続する切妻造り洋瓦葺きの別棟に洋風の玄関と応接間を設ける。鋳物産業で発展した川口市街の歴史的景観を伝えている。	建築物	住宅	1
11	永瀬孝男家住宅洋館	埼玉県川口市	T11頃	市中心部にある鋳物（いもの）業者の住宅。洋館は敷地中央に南面して建つ木造二階建て、急勾配の切妻造りで、外観はドイツ壁と縦長窓を基調に、玄関ポーチや内部の細部意匠をセセッション風とするなど大正期の洋風住宅の趣向を示す。洋館の東側に寄棟造り平屋建ての和館、西側に土蔵造り二階建ての家財蔵が接続し、和洋館併設の格式高い屋敷構えの中核を形成している。洋館の背面に切妻造り二階建ての納屋、敷地前面には煉瓦造平屋建ての旧発電所と煉瓦造二階建ての道具蔵が建ち、鋳物業者の住宅の構成を伝えている。このうち旧発電所は類例の少ない住宅附属の発電施設の遺構としても貴重。このほか敷地東面の南寄りにモルタル洗い出し仕上げの門柱を立てて表門を設け、敷地境を煉瓦塀で区切って広大な屋敷構えを格調高く整えている。	建築物	住宅	2
	永瀬孝男家住宅和館		M38頃／S前期改修		建築物	住宅	1
	永瀬孝男家住宅土蔵		M38		建築物	住宅	1
	永瀬孝男家住宅納屋		T後期		建築物	住宅	1
	永瀬孝男家住宅旧発電所		M33頃／S14頃改修		建築物	住宅	1
	永瀬孝男家住宅煉瓦蔵		M44頃		建築物	住宅	1
	永瀬孝男家住宅表門及び煉瓦塀		T前期		工作物	住宅	1
12	旧森龍（もりりゅう）織物主屋	埼玉県川口市	T13	市北部の郊外にある工場併設住宅。主屋は敷地後方に建つ寄棟造りの平屋建てで、東に土間、西に2列4室を配して西列奥に座敷を設けるなど伝統民家の形式を継承する。敷地前方に木造平屋建て、鋸（のこぎり）屋根の工場が建ち、近代に発展した川口の工場制手工業の様相を伝えている。	建築物	産業2次	1
	旧森龍織物工場		T9		建築物	産業2次	1
13	旧大野家住宅主屋	埼玉県越谷市	M38頃／H元頃・同30改修	市中心部にある元商家。主屋は旧日光街道に西面して建つ切妻造りの二階建てで、背面の寄棟造りの角屋（つのや）に客座敷を設ける。正面は出桁（だしげた）造りで、繊細な格子を備えるなど丁寧なつくりとする。主屋背面には切妻造り二階建ての旧座敷蔵が建つ。日光街道越谷宿の景観を伝える貴重な町家建築。	建築物	住宅	1
	旧大野家住宅土蔵		M中期／H30改修		建築物	住宅	1
14	旧森田家住宅主屋	千葉県館山市	S8頃／S10頃改修	館山（たてやま）駅近傍の旧国鉄機関区長宅。寄棟造りの平屋建てで北面に入母屋造りの玄関を出す。内部は中廊下を通して座敷と居室4室を配する。駅前に開けた近代住宅地の様相を伝える和風住宅。	建築物	住宅	1
15	染谷（そめや）家住宅主屋	千葉県柏市	弘化4（1847）	手賀沼（てがぬま）南岸の高台にある名主（なぬし）宅。敷地中央に東面して建つ主屋は寄棟造り平屋建てで、正面北端に曲屋（まがりや）状に土間を突出する。内部は表中央部の一八畳を中心に室を配し、南奥を座敷とする。県西部屈指の規模を誇る大型民家である。主屋土間部の背面に寄棟造り平屋建ての風呂場、主屋前方に土蔵造り二階建ての前蔵、主屋主体部の背面に土蔵造り二階建ての文庫蔵が建ち、県西部の上層農家の伝統的な構成を伝えている。敷地の北端に南面して建つ木造平屋建ての肥料小屋と前蔵の北側に建つ井戸屋形は簡明な建物だが、いずれも農家の生活空間の構成に欠かせない附属建物である。敷地西北隅の高台に建つ稲荷社は当家の屋敷神で、切妻造りの覆屋内に三間社流造の社殿を納める。敷地南辺の中央部に寄棟造り平屋建ての長屋門が南面して建ち、上層農家の格式ある表構えを形成している。	建築物	住宅	2
	染谷家住宅風呂場		T12頃		建築物	住宅	1
	染谷家住宅前蔵		M26		建築物	住宅	1
	染谷家住宅文庫蔵		慶應3（1867）		建築物	住宅	1
	染谷家住宅肥料小屋		M前期		建築物	住宅	1
	染谷家住宅井戸屋形（やかた）		T11		工作物	住宅	1
	染谷家住宅稲荷社		M前期		建築物	住宅	1
	染谷家住宅長屋門		E末期／S50代改修		建築物	住宅	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
16	和朗（わろう）フラット四号館	東京都港区	S11	麻布台（あざぶだい）にある木造二階建ての賃貸アパート。急勾配の切妻屋根をかけ、出窓やアルコーブを変則的に配し、印象的な路地景観を形成する。開発著しい都心部に残る貴重な戦前の都市住宅。	建築物	住宅	1
17	旧中村研一邸主屋	東京都小金井市	S34／H元・同18改修	武蔵野段丘崖線（がいせん）上にある洋画家・中村研一の旧宅。佐藤秀三（さとうひでぞう）の設計で、切妻造り二階建ての主屋は伝統木造を基調に、客間兼居間と食堂を一空間で設けるなど現代的な空間構成を取り入れる。主屋の西側に建つ茶室は旧主屋の古材を用い、素材の選択と構成に手腕を見せる佐藤秀三の代表作の一つである。	建築物	住宅	2
	旧中村研一邸茶室（花侵庵）		S35／H元改修		建築物	住宅	2
18	下田（しもだ）家住宅主屋	東京都西東京市	E末期／M22・S41・同52・同61改修	西武田無（たなし）駅近傍にある名主宅。主屋は入母屋造り平屋建てで、南に土間、北の前後に各3室を配し、前列中央室の前に入母屋造りの式台を突出し、後列上手に座敷を設ける。主屋背面の北端に土蔵造り二階建ての文庫蔵が接続する。市街化が著しい東京近郊の農村景観を伝える希少な民家建築。	建築物	住宅	1
	下田家住宅文庫蔵		M前期／T12頃改修		建築物	住宅	1
19	原家住宅主屋	神奈川県平塚市	M中期／S前期・H元改修	市北西部の丘陵地にある農家。敷地中央に南面して建つ主屋は入母屋造りの平屋建てで、東に土間、西に広間を取り、奥に前後各2室を配し、広間前面に式台、前列上手に座敷を設ける。主屋の西側に寄棟造り茅葺きの茶室、東側に切妻造り二階建ての土蔵が建ち、県中部の上層農家の伝統的な屋敷構えを形成している。敷地後方の高台に建つ寄棟造り平屋建ての長屋門は、埼玉東松山の寺院から移築したもの。簡素ながら規模雄大なつくりで、近世における長屋門の一形式を伝える。	建築物	住宅	2
	原家住宅茶室		M中期		建築物	住宅	1
	原家住宅土蔵		M中期／H元改修		建築物	住宅	1
	原家住宅旧長屋門		E後期／S21・H2移築		建築物	住宅	2
20	有田家住宅主屋	神奈川県藤沢市	S6	旧東海道遊行寺坂（ゆぎょうじざか）上にある農家。敷地中央に南面して建つ主屋は寄棟造り平屋建てで、当地の農家に珍しい妻入りとする。内部は田字形平面で、表の一室を矩折（かねお）れの土間とする点は藤沢宿の町家に通じる。敷地前方に土蔵造り二階建ての家財蔵が建つ。近代の東海道藤沢宿周縁の様相を伝える民家である。	建築物	住宅	1
	有田家住宅土蔵		T12／S2増築		建築物	住宅	1
21	旧吉田茂（よしだしげる）邸サンルーム	神奈川県中郡大磯町（おおいそまち）	S38	大磯海岸沿いにある政治家・吉田茂の旧邸。主屋西北隅に建つサンルームは吉田五十八（よしだいそや）の設計で、細身の鉄骨材による骨組や軒を曲面としたポリカーボネート屋根など、現代的な材料を繊細な意匠でまとめる。内庭の一角に建つ七賢堂は近代の元勳（げんくん）を祀った、良材を用いた丁寧なつくりの元祠堂（しどう）で、伊藤博文（いとうひろぶみ）旧邸から移築したもの。兜門は前庭と内庭を画し、北面して建つ寄棟造り檜皮葺きの門で、裏千家今日庵（こんにちあん）の兜門に倣った上質な意匠をもつ数寄屋（すきや）建築である。	工作物	住宅	2
	旧吉田茂邸七賢堂（しちけんどう）		M36頃／S35移築		建築物	住宅	2
	旧吉田茂邸兜門（かぶともん）		S29		工作物	住宅	2
22	島道（しまみち）鉱泉主屋	新潟県糸魚川市	T12頃	市東部の山中にある温浴保養施設。主屋は北面して建ち、背面西端に離れがL字形に接続する。切妻造り総二階建てで、主屋の中央に中廊下を通して東西各2室を設け、離れの1階に広間、2階に座敷2室を設ける。正面全面を掃き出しとするなど開放的なつくりで、伝統的な湯治場（とうじば）の風情を伝えている。	建築物	産業3次	1
	島道鉱泉離れ		S16頃		建築物	産業3次	1
23	芳里（ほうり）家住宅主屋	富山県砺波市	M14頃／M43・H25改修	市北部の田園地帯にある農家。敷地中央に東面して建つ主屋は切妻造り妻入りの平屋建てで、正面の妻にアズマダチの意匠を表す。規模が大きく間口の広い大型民家で、砺波平野の農村景観のランドマーク的存在である。主屋背面に土蔵造り二階建ての家財蔵、敷地東面の中央に切妻造り平屋建ての長屋門が建ち、上層農家の風格ある屋敷構えを形成している。	建築物	住宅	1
	芳里家住宅土蔵		M6／S16改修		建築物	住宅	1
	芳里家住宅長屋門		M43頃／H28改修		建築物	住宅	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
24	北谷（きただに）道具博物館 （旧北谷郵便局）	福井県勝山市	T後期／S12・同27頃・H6 改修	市北東部の山中にある谷（たに）集落の旧郵便局舎。切妻造りの木造二階建てで、正面北寄りに寄棟造りの玄関を出す。牛首街道と伊良神社参道の交差点付近にあって山村景観のランドマークとなっている。	建築物	官公庁舎	1
25	谷集会場	福井県勝山市	S28／H23改修	旧北谷郵便局南側の高台に西面して建つ。半切妻造り妻入りの木造二階建てで正面中央に切妻造りの車寄せを出す。正面に縦長窓を配し、妻に鎧窓（よろいまど）をあしらうなど、洒落（しゃれ）た外観が特徴的な集落の象徴的施設。	建築物	文化福祉	1
26	小沢家住宅主屋	山梨県甲州市	M中期／T3頃・S61頃改修	旧甲州街道沿いにある養蚕農家。前庭に南面して建つ主屋は入母屋造りの総二階建てで、棟中央に越（こし）屋根を設け、二階を全て蚕室に充てるなど、養蚕で栄えた近代山梨の農家主屋の形式を伝える。主屋背面に土蔵造り二階建ての文庫蔵が建ち、上層農家の伝統的な屋敷構えを形成している。	建築物	住宅	2
	小沢家住宅文庫蔵		M前期		建築物	住宅	1
27	日本聖公会中部教区岡谷聖バル ナバ教会	長野県岡谷市	S3／S39増築・H25改修	市中心部にある単廊（たんろう）式の木造教会。切妻造り妻入りの中央に切妻屋根の玄関ポーチを突出し、左右に招（まねぎ）屋根風の張り出しを設けた連山のような立面が特徴的な地域の象徴的施設。	建築物	宗教	1
28	小豆沢（あずきさわ）第一号砂 防堰堤	岐阜県飛騨市	T8	神通川（じんつうがわ）水系宮川（みやがわ）の小豆沢にある砂防施設。第一号砂防堰堤（えんてい）はその最下流部を構成する空石（からいし）積みの堰堤で、神通川水系に設置された最初の砂防施設である。第二号砂防堰堤は第一号の200メートル上流にある空石積みの堰堤で、深山の谷筋に滑滝状の水流をつくりだし、砂防事業の進捗によって回復した植生の中で存在感を示す。第三号砂防堰堤は第二号の240メートル上流にある空石積みの堰堤で、周辺環境との同化が進み、土砂流出の抑制と植生の回復を目的とした砂防施設の効果を如実に物語る。	土木	治山治水	1
	小豆沢第二号砂防堰堤		T9		土木	治山治水	1
	小豆沢第三号砂防堰堤		T9		土木	治山治水	1
29	桑谷（くわたに）第一号砂防堰 堤	岐阜県飛騨市	T10	神通川水系宮川の桑谷にある砂防施設。第一号砂防堰堤は第五号砂防堰堤の90メートル上流にある練石（ねりいし）積みの堰堤で、正面に副堰堤を附属する。精緻な石積みで緑豊かな渓谷の景観の添景となっている。第二号砂防堰堤は第一号の70メートル上流にある練石積みの堰堤で、第一号と同じく正面に副堰堤を附属する。第一号とともにカスケード状の水流をつくりだし、緑豊かな渓谷の景観に彩りを添えている。第五号砂防堰堤は桑谷の最下流部にある空石積みの堰堤で、正面に練石積みの副堰堤を附属する。神通川上流部で最大高を誇る砂防堰堤で、落差4メートルの滑滝状の水流が渓谷の景観に存在感を示す。第六号砂防堰堤は桑谷の最上流部にある空石積みの堰堤で、当初の姿をよく残し、人力のみで構築された大正期の空石積み構造の施工技術をよく現す。第十号砂防堰堤は第二号砂防堰堤の220メートル上流にある空石積みの堰堤で、正面に練石積みの副堰堤を附属する。土砂流出の抑制による植生の回復が進んだ渓谷中央部の景観によく馴染み、砂防施設の効果を示す。	土木	治山治水	1
	桑谷第二号砂防堰堤		T10		土木	治山治水	1
	桑谷第五号砂防堰堤		T9／S30代増設		土木	治山治水	1
	桑谷第六号砂防堰堤		T9		土木	治山治水	1
	桑谷第十号砂防堰堤		T9／S30代増設		土木	治山治水	1
30	六郎谷（ろくろうたに）第一号 砂防堰堤	岐阜県飛騨市	T10	神通川水系高原川（たかはらがわ）の六郎谷にある砂防施設。第一号砂防堰堤と第二号砂防堰堤はその最下流部を構成する空石積みの堰堤で、現在は堤体の大半が土砂に埋没し、過酷な自然条件下で効果を発揮する砂防施設の機能を如実に物語る。川下の神岡鉦山中核域を土砂災害から守り、近代日本の重工業を支えた砂防施設である。	土木	治山治水	1
	六郎谷第二号砂防堰堤		T10		土木	治山治水	1
31	陽明館	静岡県熱海市	S14／S33改修	山麓の敷地に南面して建つ木造二階建ての別荘。相模湾を望む東側に和室を並べ、広縁を通した開放的なつくりで、細部を面皮材や丸太を要所に用いた瀟洒（しょうしゃ）な数寄屋意匠でまとめる。	建築物	住宅	2

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
32	服部（はっとり）家住宅主屋	三重県四日市市	S9	海蔵川（かいぞうがわ）南岸にある米穀商の住宅。敷地中央に北面して建つ主屋は入母屋造りの総二階建てで、東西に平屋棟を付し、外壁を杉皮張りとする。一階に数寄屋風、二階に書院造り風の座敷を配した上質な近代和風住宅である。敷地北面西寄りに開く表門の東側に入母屋造り平屋建ての納屋、西側に土蔵造り二階建ての家財蔵が建ち、切妻造りの四脚門（しきやくもん）である表門とともに、豪商宅の格式ある表構えを形成している。	建築物	住宅	2
	服部家住宅納屋		S13頃／S後期改築		建築物	住宅	1
	服部家住宅土蔵		S11頃		建築物	住宅	1
	服部家住宅表門		S12頃		工作物	住宅	1
33	迫間（はさま）家住宅主屋	滋賀県彦根市	E後期／H25改修	彦根旧城下の南端にある元商家。主屋は街路に東面して建つ切妻造りのつし二階建てで、敷地最奥部に切妻造り二階建ての土蔵が建つ。主屋、土蔵とも内外に改変があるが、軒の低い正面などは旧状を留め、小屋組み等に旧材を残す。江戸後期に遡る希少な彦根の町家建築で、城下町の景観を伝えている。	建築物	住宅	1
	迫間家住宅土蔵		E後期／H25改修		建築物	住宅	1
34	岩井家住宅主屋	京都府京都市	E末期	市北部の山間にある元林業家の主屋。入母屋造り茅葺き妻入りの平屋建てで、正面を土間として正面東端に台所部を突出し、奥の左右に各3室を配する。市内山間部の最古級の民家として貴重な存在。	建築物	住宅	2
35	七条大橋	京都府京都市	T2／H元改修	鴨川にかかる鉄筋コンクリート造五連アーチ橋で、重厚な橋脚と緩やかなアーチがリズムカルな立面を構成し、細部のセセッション風の意匠が時代性を示す。古都の重要な景観要素となっている。	土木	交通	1
36	松井家住宅主屋（旧中井産院）	京都府京都市	S5	伏見稻荷界隈の角地に建つ。布目タイル張りの事務所風の洋館と、その背面の切妻造り総二階建ての和館からなる。両館南端に土間を通して中間を中庭とするなど表屋造りの構成を踏襲した医院兼住宅。	建築物	文化福祉	2
37	旧上田家住宅主屋	京都府向日（むこう）市	M43／S17頃移築	市中央部の集落にある農家。敷地中央に南面して建つ主屋は切妻造り平屋建てで、四周に下屋をまわす。東に土間、西の前後に各2室を配し、前列奥に座敷を設ける。主屋背面に入母屋造り二階建ての離れと土蔵造り二階建ての内蔵が東西に並んで建ち、屋敷構えの中核を形成している。敷地東方に建つ土蔵造り二階建て一部平屋建ての外蔵は、米蔵と道具蔵からなる農家に欠かせない附属建物である。主屋正面には前庭を区切る中門及び塀が建ち、格式ある表構えを形成している。	建築物	住宅	1
	旧上田家住宅離れ		S17頃		建築物	住宅	1
	旧上田家住宅内蔵		M43頃／S17頃移築		建築物	住宅	1
	旧上田家住宅外蔵		M43頃／S17頃移築		建築物	住宅	1
	旧上田家住宅中門及び塀		S17頃		工作物	住宅	1
38	旧松原家住宅主屋	京都府木津川市	M42	市西部の集落にある農家の主屋。入母屋造り平屋建てで、四周に下屋をまわす。東に土間、西の前後に各3室を配して中廊下を通し、前列上手に座敷を設ける。伝統形式を踏襲した近代の和風住宅である。	建築物	住宅	2
39	鴉宮（からすのみや）稻荷社（旧本殿）	大阪府大阪市	天明元（1781）／S5頃・同42頃移築	淀川下流部南側の境内東隅にある境内社で、高い切石（きりいし）積み基壇（きだん）上に南面して建つ。一間社流造りで、中備（なかぞなえ）の臺股や妻飾りの大瓶束笈形（たいへいづかおいがた）を躍動感のある彫刻で飾る。小社ながら豊かな細部意匠をもつ社殿。	建築物	宗教	2
40	高島屋東別館	大阪府大阪市	S3／S9・同12増築	堺筋の鉄筋コンクリート造9階建ての旧百貨店。正面基部の11連アーチや内部の階段回りなど要所をアカンサス基調の装飾で華やかに仕上げる。大阪屈指の繁華街であった堺筋を象徴する大規模商業建築。	建築物	産業3次	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基 準
41	甲南（こうなん）女子大学管理棟	兵庫県神戸市	S39	六甲（ろっこう）山地南麓にあるキャンパスの中核施設で、南の管理棟と北の3号館、両館の中央部を南北に貫いて接続する渡廊下（わたりろうか）からなる。村野藤吾（むらのとうご）の設計で、管理棟は鉄筋コンクリート造3階建ての1・2階壁面を後退して独立柱を並べ、柱にテーパーをつけて細く見せるなど重量感を抑えたデザインでまとめる。3号館は鉄筋コンクリート造3階建てで、管理棟と共通の造形表現を基調としつつ、片廊下式の均質な教室配置にあわせて変化を加えたデザインで全体を整える。渡廊下は中央部を芝生敷きとして両端に屋根付の階段を通す。管理棟、3号館と一体でキャンパスの基幹部分を構成している。	建築物	学校	1
	甲南女子大学3号館		S39		建築物	学校	1
	甲南女子大学渡廊下		S39／S54改修		工作物	学校	1
42	湊川（みなとがわ）隧道	兵庫県神戸市	M34／S3増築・H12改修	市中心部北西方の会下山（えげやま）を貫通する我が国最初の河川隧道（ずいどう）。馬蹄形（ばていけい）断面の煉瓦覆工（ふっこう）で、側壁はイギリス積み、アーチは長手（ながて）積み、インバートは花崗岩切石敷きとするなど明治時代の建設技術を伝える。	土木	治山治水	3
43	日下（くさか）家住宅主屋	兵庫県宝塚市	S2頃／S20代・同60・H11改修	阪急雲雀丘（ひばりがおか）花屋敷駅北側の住宅地にあり、主屋は敷地中央に東面して建つ。木造二階建て一部三階建てで、急勾配の切妻造りの妻を正面とし、正面北半にガラス張りの温室を附属する。外観洋風・内部和洋折衷の郊外住宅で、昭和前期の都市中間層の暮らしを伝える。敷地東南隅の表門は門扉を設けない小ぶりで簡明な門。表門と主屋をつなぐ階段状の通路の中間地点にある中門は洗い出し仕上げの門柱の柱身に切石を市松模様に張る。近代住宅らしい明るく開放的な表構えを形成している。敷地東面の南寄りには通用門である東門を開き、庭木とともに住宅地の街路景観の要素となっている。	建築物	住宅	2
	日下家住宅表門		S前期		工作物	住宅	1
	日下家住宅中門		S前期		工作物	住宅	1
	日下家住宅東門		S20代		工作物	住宅	1
44	栗原家住宅主屋	兵庫県宝塚市	S前期	阪急雲雀丘花屋敷駅北側の住宅地に建つ。居間や客間を配した南北棟の背面に個室を配した東西棟を連ねた構成で、ヨーロッパ山荘風の外観が多様な趣向の住宅が混在する景観の構成要素となっている。	建築物	住宅	1
45	多田（ただ）神社宝物殿	兵庫県川西市	S4	多田神社境内前方の参道東脇に建つ。鉄筋コンクリート造の切妻造り平屋建てで、屋根と向拝は木造とする。大正以降戦前に建築された不燃構造・和風意匠の神社宝物殿の好例を示す。	建築物	宗教	2
46	東多田夢勝庵（ひがしただむしょうあん）主屋	兵庫県川西市	E後期／S10頃・同44頃改修	猪名川（いながわ）東側にある集落の元庄屋（しょうや）宅。敷地後方に南面して建つ主屋は入母屋造り平屋建てで、四周にまわした下屋上を大壁として塗り込める。東に土間、西に前後に3室を配し、前列上手に座敷を設ける。主屋の西側に土蔵造り二階建ての家財蔵、主屋の正面に前庭を区切る露地門及び庭塀が建ち、格式ある屋敷構えの中核を形成している。敷地東南隅に平屋建ての長屋門がL字形に建ち、東面と南面に門扉を構えた堂々たる表構えをつくる。敷地境には東北隅に裏門及び北塀、西面南半に西塀が残り、庄屋屋敷の伝統的な構成を伝えている。	建築物	住宅	1
	東多田夢勝庵土蔵		M前期		建築物	住宅	1
	東多田夢勝庵露地門及び庭塀		E後期／M前期改修		工作物	住宅	1
	東多田夢勝庵長屋門		文久3（1863）／S10・同55頃改修		建築物	住宅	1
	東多田夢勝庵裏門及び北塀		E後期		工作物	住宅	1
	東多田夢勝庵西塀		E後期		工作物	住宅	1
47	旧平賀家住宅東屋	兵庫県川西市	T8頃／H元移築	市中心部から郷土館に移築した科学者・平賀義美（ひらがよしみ）自邸のガゼボ（洋風東屋）。六角形平面の各角に鑄鉄（ちゅうてつ）製の円柱を立て、柱間に腰板とガラス欄間（らんま）を嵌める。上質な意匠をもつ近代住宅の附属施設。	工作物	住宅	2

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
48	藤間（とうま）家住宅主屋	奈良県奈良市	E後期／E末期・M期・S35頃改修	春日大社（かすがたいしゃ）南方の旧社家町（しゃけまち）にあり、主屋は前庭の奥に北面して建つ。切妻造り平屋建一部二階建てで正背面に下屋を付し、東に旧土間、西に二列に室を配する。江戸後期に遡る社家住宅の貴重な遺構。表門及び土塀は敷地北面に開く本瓦葺きの薬医門（やくいもん）と左右に延びる土塀からなり、旧社家町の街路景観の構成要素となっている。	建築物	住宅	2
	藤間家住宅表門及び土塀		E後期／S35頃改修		工作物	住宅	1
49	野村医院旧診療所	奈良県山辺郡山添村（やまぞえむら）	M30頃／S31移築・改修	村中心部にある元診療所。入母屋造り妻入りの木造平屋建てで、内部は2列6室で待合室や診察室、手術室等を機能的に配する。明治期の地方診療施設の様相を伝えている。	建築物	文化福祉	2
50	畑田（はただ）家住宅主屋	和歌山県海南市	S4頃	市街地北西部の船尾（ふのお）にある漆器業者の旧宅。主屋は街路に東面して建つ入母屋造り総二階建てで、軒を出桁造り、外壁を黒漆喰（くろじっくい）塗りとするなど重厚に仕上げる。主屋の南側に設けた庭の周囲をモルタル洗い出し仕上げの門及び塀が区切る。近代住宅地の歴史的景観の核を成す上質な和風住宅である。	建築物	住宅	1
	畑田家住宅門及び塀		S4頃		工作物	住宅	1
51	上南（うえみなみ）家住宅主屋	和歌山県海草郡	E中期/M後期改修	貴志川（きしがわ）上流の山中にある農家兼茶屋。敷地中央に東面して建つ主屋は入母屋造り平屋建てで、押板形式の床や床差しの竿縁（さおぶち）天井など座敷回りを中心に江戸中期の姿を留める希少な民家建築である。主屋の北側には離れ座敷である入母屋造り平屋建てのヒヤが対峙（たいじ）して建ち、屋敷構えを引き締める。主屋とヒヤの間に納屋である入母屋造り平屋建てのコナシヤ、敷地南隅に平屋建ての長屋門が建ち、貴志川流域山間部の農家の伝統的な構成を伝えている。	建築物	住宅	2
	上南家住宅ヒヤ	紀美野町（きみのちょう）	S32頃		建築物	住宅	1
	上南家住宅コナシヤ		S32		建築物	住宅	1
	上南家住宅長屋門		E後期／S20代・S中期改修		建築物	住宅	1
52	旧野田家住宅主屋	和歌山県日高郡美浜町（みはまちょう）	S9頃／H29改修	町西部の旧三尾村（みおむら）にある洋風住宅。寄棟造り洋瓦葺きの二階建て、外壁下見板張りペンキ塗りで、南面中央の玄関ポーチは円柱やアーチ状の垂壁を用いて洋風意匠を強調する。敷地東面から南面にかけてモルタル洗い出し仕上げの塀を設け、東面南端に門を開く。カナダ移民で知られる三尾地区の象徴的存在。	建築物	住宅	1
	旧野田家住宅門及び塀		S前期		工作物	住宅	1
53	遊心庵（ゆうしんあん）（旧田中家住宅）主屋	和歌山県日高郡美浜町	S8頃	町西部の旧三尾村中心部の高台に南面して建つ。主屋は入母屋造り平家建てで、東に土間、西の前後に各3室を配し、西側の寄棟造りの別棟に洋室を設ける。敷地南面の石垣上にモルタル洗い出し仕上げの塀を設け、東寄りに門を開く。カナダ移民が故郷に建てた上質な和風住宅。	建築物	住宅	1
	遊心庵（旧田中家住宅）門及び塀		S前期		工作物	住宅	1
54	石尾家住宅主屋	鳥取県鳥取市	E末期	鹿野（しかの）旧城下中心部にある商家。主屋は旧鹿野往来に北面して建つ切妻造りつし二階建てで、西側に前庭を囲んで別棟の奥の間と新座敷が連なる。正面は繊細な格子や出格子、絵様付の腕木で整える。敷地西北隅に切妻造り二階建ての土蔵を建て、主屋と土蔵の間の前庭正面を塀で区切り、その東端に切妻造りの一間腕木門を開く。旧城下の街路景観の核となる大型町家である。	建築物	住宅	1
	石尾家住宅土蔵		M後期		建築物	住宅	1
	石尾家住宅門及び塀		S前期		工作物	住宅	1
55	常松（つねまつ）家住宅主屋	島根県出雲市	M7頃／T頃・S59改修	斐伊川（ひいかわ）東岸にある集落の地主宅。敷地中央に南面して建つ主屋は寄棟造り茅葺きの平屋建てで、四周に棧瓦葺きの下屋をまわす。東に土間、西の前後に各3室を配して中廊下を通し、前列奥を座敷とするなど出雲平野の伝統的な民家形式をよく示す。主屋の東側に南北棟の南面入母屋造り、北面切妻造り棧瓦葺き二階建ての離れがL字形に並び建ち、屋敷構えの中核を形成している。主屋の背面に土蔵造り二階建ての本蔵、正面脇に庭門である中門、敷地南面東寄りに表門が建ち、旧家の伝統的な屋敷構えを形成している。	建築物	住宅	2
	常松家住宅離れ		M前期／T頃・S30代改修		建築物	住宅	1
	常松家住宅本蔵		M7頃／H10頃改修		建築物	住宅	1
	常松家住宅中門		M7頃／S61改修		工作物	住宅	1
	常松家住宅表門		M7頃／S61改修		工作物	住宅	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
56	酒持田（さけもちだ）本店向座敷（むこうざしき）	島根県出雲市	S8／H22・同25改修	市東部の平田町（ひらたちょう）中心部にある商家。向座敷は街路を挟んで主屋と向き合い北面して建つ。切妻造り総二階建てで背面を運河に面し、中央部に運河に抜ける通路（カケダシ）を設ける。向座敷の東側には切妻造り妻入り二階建ての土蔵が並んで建ち、商家町の歴史的景観を形成している。	建築物	産業2次	1
	酒持田本店土蔵		M後期／S47改修		建築物	産業2次	1
57	上野家住宅主屋	島根県出雲市	E後期／T頃・S6頃・同45改修	北山山系南裾の旧出雲街道沿いにある集落の名主宅。敷地中央に南面して建つ主屋は入母屋造り茅葺きの平屋建てで、四周に棧瓦葺きの下屋をまわす。東に土間、西の前後に各3室を配して南西二面に縁をまわし、前列奥に座敷を設けるなど出雲平野の伝統的な民家形式をよく示す。主屋の西側に接続する切妻造り二階建ての奥座敷は正面に広くガラス窓を用いた開放的なつくりで、民家の近代的な展開を示す。奥座敷の西側には土蔵造り二階建ての家財蔵が並び建ち、街道沿いの集落の歴史的景観の形成している。	建築物	住宅	2
	上野家住宅奥座敷		M27頃		建築物	住宅	2
	上野家住宅土蔵		天明8（1788）／E後期移築、M27頃増築		建築物	住宅	1
58	佐藤家住宅主屋	岡山県倉敷市	E中期／安政5（1858）頃増築	市南部の田園地帯にある農家。敷地中央に南面して建つ主屋は入母屋造り茅葺きの平屋建てで、四周に本瓦葺きの下屋をまわす。東に土間、西に前後2列に室を並べ、背面に座敷棟を付すなど備前地方平野部の伝統的な民家形式をよく示す。敷地北端に切妻造り本瓦葺き二階建ての東土蔵と西土蔵、敷地南面の東寄りに入母屋造り本瓦葺き平屋建ての長屋門が建ち、上層農家の伝統的な屋敷構えを形成している。	建築物	住宅	2
	佐藤家住宅東土蔵		E末期／H2改修		建築物	住宅	1
	佐藤家住宅西土蔵		E末期		建築物	住宅	1
	佐藤家住宅長屋門		安政5(1858)／S40頃改修		建築物	住宅	1
59	長島愛生園（ながしまあいせいえん）旧事務本館	岡山県瀬戸内市	S5／S前期増築・H10・同15改修	瀬戸内海の長島中央部にあるハンセン病療養施設。主要な施設は内務省技手（ぎて）の松崎留吉（まつざきとめきち）の設計による。旧事務本館は施設の中心に建つ鉄筋コンクリート造二階建て一部平屋建てで、正円アーチ形の車寄せ開口部や二階窓、大ぶりのパラペットなど表現主義の特徴を示す。旧収容所は北岸の波止場に建つ新規入園者の停留施設で、鉄筋コンクリート造平屋建ての北を廊下、南を大空間の病室とし、東半の廊下沿いに診療室や浴室等を並べる。東立て板張りの床など昭和初期における鉄筋コンクリート工法の様相を伝える。旧日出浴場と旧洗濯場は敷地東部の居住区裏山の東裾に並んで建つ鉄筋コンクリート造平屋建てで、生活関連施設が鉄筋コンクリートで建てられたところに内務省直轄事業の特別さがうかがえる。園長官舎は敷地西部の官舎区南端に西面して建つ寄棟造りの平屋建てで、北端に切妻造り妻入りの玄関付洋館を設ける。昭和期における和洋館併設の中流住宅の好例を示す。	建築物	文化福祉	2
	長島愛生園旧収容所		S5／H29改修		建築物	文化福祉	2
	長島愛生園旧日出（ひで）浴場		S5／S30改修・増築		建築物	文化福祉	1
	長島愛生園旧洗濯場		S5		建築物	文化福祉	1
	長島愛生園園長官舎		S5		建築物	文化福祉	2
60	邑久光明園（おくこうみょうえん）恩賜会館	岡山県瀬戸内市	S16／H15改修	瀬戸内海の長島西部にあるハンセン病療養施設。恩賜会館は半切妻造り妻入りの平屋建てで、正面は中央車寄せ上部の壁面を突出して三連アーチ窓を配するなど特徴的な造形表現とする。敷地中央部に建つ当施設の象徴的存在である。敷地東部の木尾湾に面する旧裳掛小・中学校第三分校には木造平屋建ての校舎が残り、療養施設附属の学校施設の様相を伝えている。敷地北部の高台に建つ奉安殿は鉄筋コンクリート造、切妻造り銅板葺きで、棟上に千木（ちぎ）と鯉木（かつおぎ）を載せ、外壁の四隅に円柱形を表す。類例の少ない療養施設附属の奉安殿である。物資運搬斜路は敷地南部の波止場にある、中央部高台の施設に物資を上げるためのコンクリート製のトロック軌道で、戦前の鋼索（こうさく）式の傾斜地輸送設備として貴重な遺構。瀬溝浅橋は施設西部の官舎区の波止場にある石造の埠頭で、昭和期における療養施設の構成を伝えている。	建築物	文化福祉	2
	邑久光明園旧裳掛（もかけ）小・中学校第三分校		S14／H14改修		建築物	文化福祉	1
	邑久光明園奉安殿（ほうあんでん）		S18／H21改修		建築物	文化福祉	1
	邑久光明園物資運搬斜路（ぶっしうんばんしゃろ）		S13		土木	文化福祉	1
	邑久光明園瀬溝（せみぞ）栈橋		S24／S46・H16改修		土木	文化福祉	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
61	多門亭（たもんてい）	広島県尾道市	T9頃／S40頃改修	千光寺山（せんこうじさん）南腹にある旧料亭。切妻造りの総二階建てで上下階に各玄関を設け、一階に中廊下を通して小座敷を並べ、二階に大座敷を配する。山腹に広がる市街地の歴史的景観の構成要素である。	建築物	産業3次	1
62	椿八幡神社本殿	徳島県阿南（あなん）市	安政3(1856)頃	市南東部の椿町（つばきちょう）中心部の境内奥に建つ。一間社流造り檜皮葺きで、四周縁を腰組で支持する。組物は柱上の斜め方向にも手先を出す尾垂木（おだるき）付き二手先（にてさき）の詰組（つめぐみ）で、組物間を彫刻で密に飾るなど、江戸末期らしい複雑な構成と豊かな意匠をもつ。	建築物	宗教	2
63	中山家住宅主屋	徳島県三好（みよし）市	T前期／H29改修	祖谷川（いやがわ）上流の久保集落にある農家主屋。南正面の入母屋造り茅葺きで、南西二面を出桁造りとし、濡縁（ぬれえん）と吹放し下屋をまわす。見晴らしのよい南斜面中腹に建ち、山村集落の景観の核を成している。	建築物	住宅	1
64	栗尾家住宅主屋	徳島県三好市	E末期／S28頃増築・同63頃改修	祖谷川上流の釣井集落にある農家主屋。南正面の入母屋造り茅葺きで、東から土間付の茶ノ間、中ノ間、座敷を並べ、中ノ間奥に寝間、正面中央に便所を設ける。祖谷地方の伝統民家の形式を示す。	建築物	住宅	2
65	岩瀬家住宅主屋	香川県坂出（さかいで）市	M23頃／S7頃増築・改修	市街地西部の角山（つのやま）北麓にある製塩業者の住宅。敷地中央に東面して建つ主屋は入母屋造りの平屋建てで、南端に二階を増築する。主屋背面の北端に寄棟造り二階建ての新座敷が接続し、主屋とともに屋敷構えの中核を形成している。主屋背面の中庭には土蔵造り二階建ての道具蔵、敷地東北隅には表門である本瓦葺きの薬医門が建ち、豪商宅の重厚な屋敷構えを形成している。このほか、表門と主屋の間の通路に繊細な意匠の板塀、表門の両側の敷地境に豪壮な意匠の土塀、街路と表門の間の導入路に精緻なつくりの植込碎石組みを配し、広大な屋敷構えを格調高く整えている。	建築物	住宅	1
	岩瀬家住宅新座敷		M後期		建築物	住宅	1
	岩瀬家住宅道具蔵		M44頃		建築物	住宅	1
	岩瀬家住宅表門		M後期		工作物	住宅	1
	岩瀬家住宅板塀		S前期		工作物	住宅	1
	岩瀬家住宅土塀		M後期		工作物	住宅	1
	岩瀬家住宅植込碎石組		M後期／S前期改修		工作物	住宅	1
66	正蓮寺（しょうれんじ）本堂	香川県坂出市	文政8（1825）／H4・同28改修	市西部の五色台（ごしきだい）西麓にある真宗（しんしゅう）寺院。本堂は南正面の入母屋造り本瓦葺きで、向拝は木鼻に龍や獏を彫刻し、虹梁（こうりょう）には波に鯉の躍動的な文様をあしらうなど装飾豊かに仕上げる。讃岐地方の江戸後期真宗本堂の好例を示す。本堂の東側には入母屋造り妻入りの大玄関と両下造りの小玄関が接続し、本堂とともに境内中枢部の重厚な景観を形成している。境内正面の山門西脇に入母屋造り本瓦葺きの鐘楼、東脇に六角形平面本瓦葺きの経蔵が参道を挟んで並び建ち、境内の表構えを整える。山門は切妻造り本瓦葺きの薬医門で、親柱に大断面の五平材（ごひらざい）を用い、控柱も木太い角柱に絵様付の虹梁を渡すなど量感あるつくりとする。境内の江戸中期の建築形式を伝える貴重な建物である。	建築物	宗教	2
	正蓮寺大玄関及び小玄関		弘化2（1845）／S28頃・H27改修		建築物	宗教	1
	正蓮寺鐘楼（しょうろう）		M43		工作物	宗教	1
	正蓮寺経蔵（きょうぞう）		M12／H4・同10頃改修		建築物	宗教	1
	正蓮寺山門		E中期		工作物	宗教	2
67	木村家住宅主屋	愛媛県松山市	M14	港沿いの裏通りに西面して建つ町家。主屋は建ちの高い出桁造りの二階建てで、上下階とも正面に出格子を入れる。南に広い土間、北に1列に室を配し、二階には広間を設ける。海に面する敷地背面の北隅に切妻造り二階建ての離れ、南半に切妻造り二階建ての土蔵が並んで建ち、港沿いの屋敷構えを形成している。主屋背面の南端と土蔵の間に建つ風呂は片流れ屋根の平屋建てで、内壁を装飾タイル張りとするなど大正期の地域の暮らしの一端を伝えている。	建築物	住宅	1
	木村家住宅離れ		S前期		建築物	住宅	1
	木村家住宅土蔵		M前期		建築物	住宅	1
	木村家住宅風呂		M14頃／T3改修		建築物	住宅	1
68	上弓削（かみゆげ）田坂家住宅主屋	愛媛県越智郡上島町（かみじまちょう）	T6／H30改修	弓削島西岸の港町にある住宅。敷地中央に建つ主屋は入母屋造りのつし二階建てで、背面西端に台所を角屋で出す。西に土間、東に2列4室を配し、東列表に座敷を設ける。瀬戸内海島嶼部（とうしょぶ）の民家建築の形式を継承した近代和風住宅である。主屋背面に切妻造り二階建ての土蔵が建ち、敷地正面を切妻造りの門と土塀で画する。港町の歴史的景観を形成している。	建築物	住宅	2
	上弓削田坂家住宅土蔵		T6頃／S前期・H26改修		建築物	住宅	1
	上弓削田坂家住宅門及び塀		T6頃		工作物	住宅	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
69	岬観光ホテル本館	高知県室戸市	S9頃／S中期改修	室戸岬南端の海岸沿いに建つ木造二階建てのホテル。切妻造り妻入りの本館と、その背面の寄棟造りの新館からなる。正面に玄関ポーチを出し、下見板張りの妻に窓を設けた洋風の外観とするが、客室は全て畳敷きの和室とする。昭和初期から戦後にかけて観光地として発展した室戸岬の様相を伝える。	建築物	産業3次	1
	岬観光ホテル新館		S39頃		建築物	産業3次	1
70	津田家住宅主屋	高知県安芸市	T3頃	土居廓中（どいかちゅう）西側の旧武家地に建つ。主屋は敷地東北隅に南面して建つ切妻造り妻入りの平屋建てで、西面北半に寄棟造りの座敷棟を出す。敷地東南隅に切妻造り平屋建ての附属屋、敷地南面の路地に面して門及び塀が建ち、武士住宅を思わせる風格ある表構えを形成している。武家地の景観を継承する近代の和風住宅である。	建築物	住宅	1
	津田家住宅附属屋		T3頃／S50代改修		建築物	住宅	1
	津田家住宅門及び塀		T3頃		工作物	住宅	1
71	田所（たどころ）内科医院主屋	高知県土佐市	M25頃／S60頃・H2頃改修	市中心部にある診療所兼住宅。敷地中央に建つ入母屋造り平屋建てで、奥の前後に各4室を配し、西端の座敷二室を診察室と検査室に充てる。旧市街の歴史的景観を伝える、地域に親しまれる現役の医院。	建築物	文化福祉	1
72	海のギャラリー	高知県土佐清水市	S41／H17改修	竜串（たつくし）海岸にある林雅子（はやしまさこ）設計の展示施設。鉄筋コンクリートの折板（せつばん）構造で、二枚貝が天に開いた様をモダニズムの造形表現で巧みにまとめる。デッドスペースが皆無で、構造即意匠を旨とする林らしい作品。	建築物	文化福祉	2
73	堤内（つつみうち）家住宅亭（ちん）	長崎県島原市	S8頃／S38頃改修	島原城三の丸南東部に位置する屋敷地東端に建つ離れ。寄棟造り茅葺きの平屋建てで、南に四畳半、北に三畳二室を配し、各室を趣の異なる数寄屋意匠で整える。城内の屋敷の伝統的な構成を伝える附属建物。	建築物	住宅	1
74	中村家住宅長屋門	長崎県島原市	E後期／S49移築	島原城の南西方にある住宅の長屋門。街路に東面して建つ入母屋造りの平屋建てで、中央に門口を開き、南北に各一室を配する。町年寄宅の旧正門で、城下の町屋敷門の一形式を伝える。	建築物	住宅	2
75	旧石井家住宅主屋	熊本県玉名郡南関町（なんかんまち）	E後期／M19改修	町北部の山あいにある屋敷地に建つ。正面入母屋造り妻入りの二階建てで、東側面に平屋建ての別棟を雁行して接続し、南に広い土間を取り、別棟に座敷を設ける。山間部の上層農家の暮らしを伝える。	建築物	住宅	1
76	鞍埼（くらさき）灯台	宮崎県日南市	M17／S21・H12改修	日向（ひゅうが）灘に浮かぶ大島南端に建つ。切妻造りの附属舎中央に一二角形平面の灯塔（とうとう）を立て、金属製の灯室（とうしつ）を載せる。我が国最初の無筋コンクリート造灯台で、明治前期の建設技術の様相を伝える。	工作物	交通	3
77	服部植物研究所	宮崎県日南市	S20代／S50代移築	飫肥（おび）旧城下の本町（ほんまち）通りにある研究所。洋風平屋建ての研究室部分と和風二階建ての居室部分からなる建物で、通りに北面して建つ。本町通りの歴史的景観の構成要素となっている。	建築物	文化福祉	1

	名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別		基準
78	細島（ほそしま）灯台	宮崎県日向市	S16／H3改修	細島半島東端の日向岬に建つ。灯塔は円筒形で、鉄筋コンクリート造の塔身上部にバルコニーをまわし、金属製の灯室を載せる。半円アーチ形の出入口など細部に昭和期流行の意匠を見せる。	工作物	交通	2
79	都井（とい）岬灯台	宮崎県串間市	S4／S25改修	県最南端の都井（とい）岬に建つ。鉄筋コンクリート造で、附属舎正面中央に八角形平面の灯塔を立て、塔身上部にバルコニーをまわし、金属製の灯室を載せる。九州唯一の参観灯台として広く親しまれる。	工作物	交通	1

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。